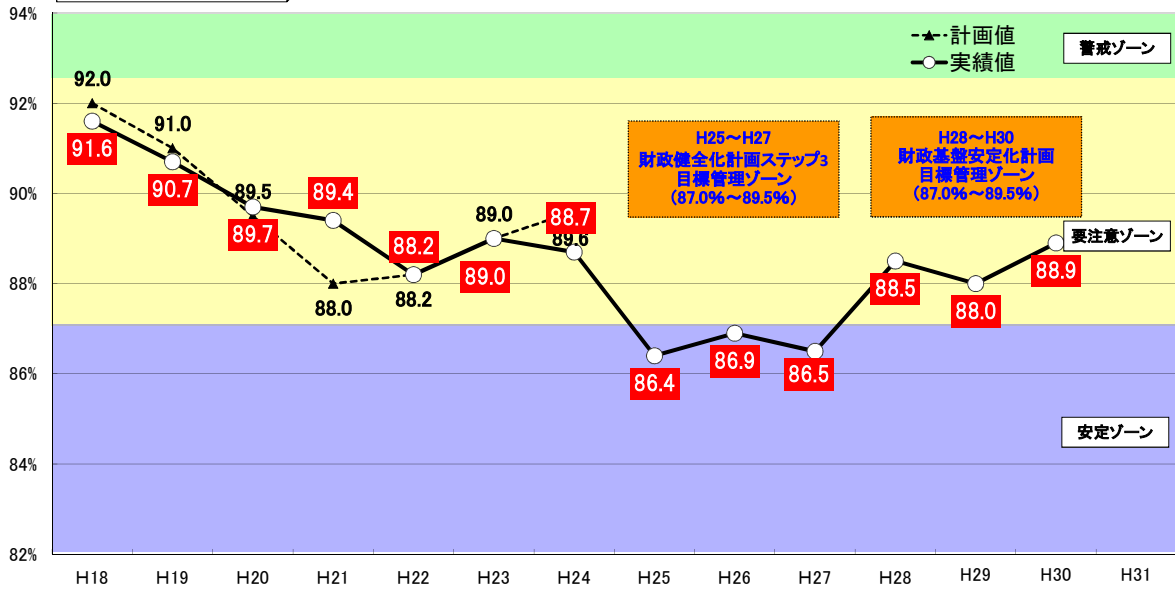


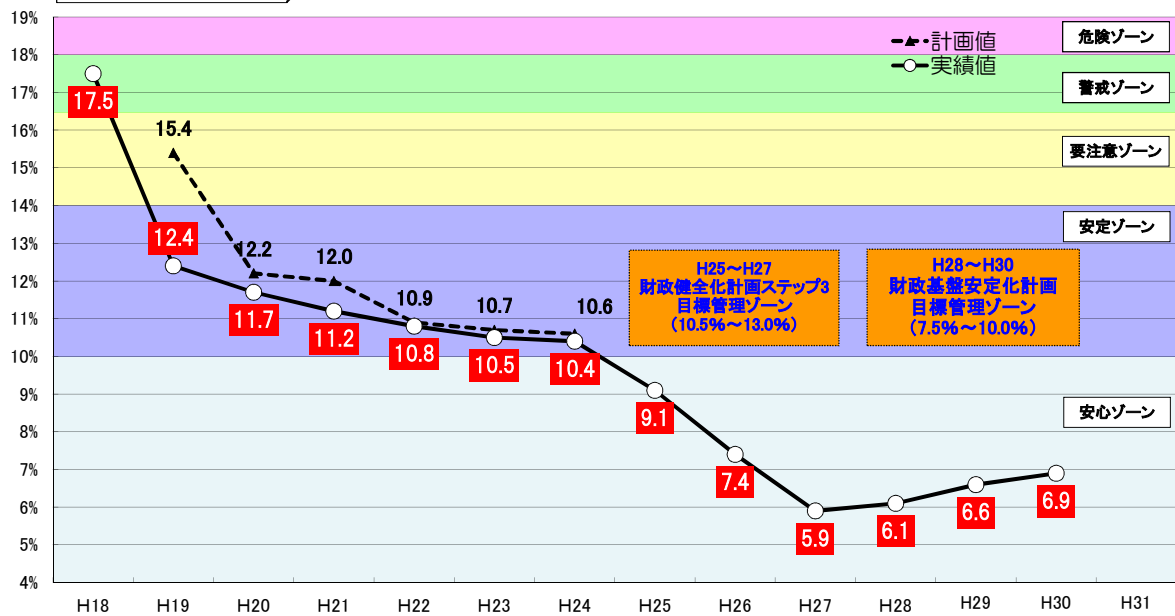
### 経常収支比率

経常的経費(人件費・扶助費・公債費等)のために、地方税・地方交付税・地方譲与税を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されるかをみることにより、当該団体の財政構造の弾力性を判断



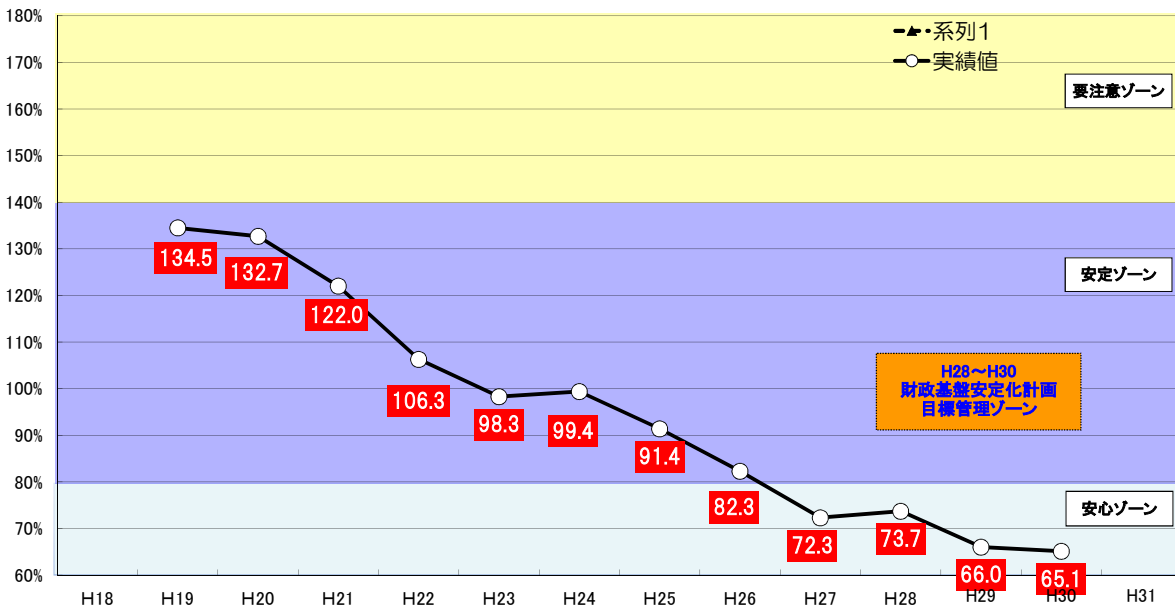
### 実質公債費比率

一般会計等が負担する公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模を基本とした額に対する比率であり、公債費による財政負担の程度を示す指標



### 将来負担比率

一般会計等が将来負担する公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模を基本とした額に対する比率であり、将来の財政負担の程度を表す指標です。



## 財政健全化比率及び資金不足比率

(平成30年度決算による比率及び金額)

財政健全化比率	苦小牧市 指標	早期健全化 基準	苦小牧市決算額 (分子の額)	苦小牧市の分母の額	早期健全化基準の 分子の金額
1 実質赤字比率 $\frac{\text{一般会計等の赤字額}}{\text{標準財政規模}}$	—	11.47%	一般会計等の赤字 無し	標準財政規模 約395.1億円	一般会計等の赤字 約45.3億円
2 連結実質赤字比率 $\frac{\text{全会計の連結赤字額}}{\text{標準財政規模}}$	—	16.47%	全9会計の連結赤字 無し	標準財政規模 約395.1億円	全9会計の連結赤字 約65.1億円
3 実質公債費比率 $\frac{\text{地方債元利償還金など}}{\text{概ね標準財政規模}}$	6.9%	25.0%	交付税措置額を除いた市全体の 地方債元利償還金などの 3か年平均 約23.6億円	概ね標準財政規模の 3か年平均 約339.2億円	交付税措置額を除いた市全体の 地方債元利償還金などの 3か年平均 約84.8億円
4 将来負担比率 $\frac{\text{市全体の将来負担総額}}{\text{概ね標準財政規模}}$	65.1%	350.0%	最終的に市の負担が生じる 市全体の将来負担額 約222.3億円	概ね標準財政規模 約341.1億円	最終的に市の負担が生じる 市全体の将来負担額 約1,193.8億円

資金不足比率 $\frac{\text{資金不足額}}{\text{概ね営業収益の額}}$	苦小牧市 指標	経営健全化 基準	苦小牧市資金不足額	苦小牧市該当会計の 概ね営業収益の額	経営健全化基準の 資金不足額
水道事業会計	—	20.0%	資金不足額は無し	約26.9億円	約5.4億円
下水道事業会計	—		資金不足額は無し	約33.5億円	約6.7億円
市立病院事業会計	9.8%		約8.9億円	約90.3億円	約18.1億円
公設地方卸売市場事業会計	—		資金不足額は無し	約1.2億円	約0.2億円